



鹿追町立鹿追中学校
IBCO 奥平 和也
2026.2.6 Vol.43

IB の学びと「知識」の関係

本日は入学説明会がありました。生徒会生徒からの IB の学びについての説明があった他、1 2 月の懇談会でも今回の入学説明会でも教務部からは「家庭学習の習慣化の重要性」、生徒指導部から「生活習慣の重要性」についてのお話がありました。

IB の学びについての説明は過去号でも説明してきていますので、本号では「IB の学びと家庭学習・生活習慣との関係」について、私の方からも少し補足させていただきたいと思います。





https://drive.google.com/drive/folders/1Ddw_q54sH9QF-WGq1mmt-ivTpsM_ho9M?usp=sharing

↑こちらはとある1日の各教科授業のうち、生徒が「知識技能の定着」に励んでいた場面を撮影してきたものです。

IB教育というと、「思考力」や「表現力」といった応用部分に目が向きがちですが、前提として私たちは**「知識」をないがしろにするものではありません。**

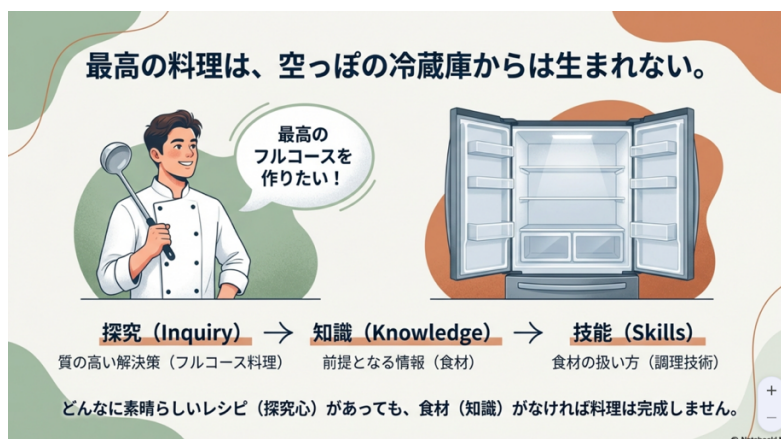
探究学習において、知識は建物を建てるための「レンガ」、美味しい料理を作るための「レシピ」です。

例えば、地域の課題を解決しようとする際、前提となる知識がなければ、その解決策の質は上がりません。「美味しい料理を作りたい！」と願うシェフ（探究心のある生徒）がいても、

冷蔵庫（頭の中）が空っぽであつたり（知識）、食材の扱い方を知らなければ（技能）、最高のフルコース（質の高い解決策）は作れません。

まずは良質な素材を集め、その扱い方を知ることが不可欠です。

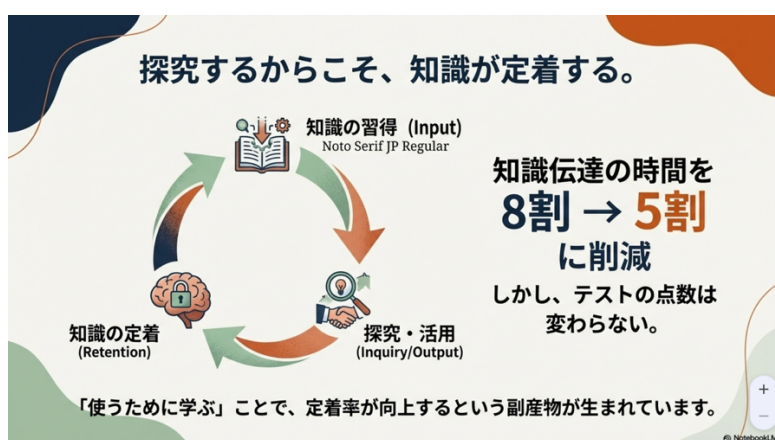
そのため、授業においても前提知識を導入し、定着度を測るところまでは各教科授業で従来通り行っています。 **もちろん時間には限りがありますので、各教科担当が効果の最大化・効率化の工夫を続けています。**



加えて「探究」か「知識」という二項対立ではなく、探究的に学ぶからこそ知識の定着率が向上している。という副産物の存

在も実感しているところです。というより、今まで知識に掛けていた8割強の時間を5割に減らしても、学力テストの点数にあまり差異が見られない事実に

「え、今まで眠たそうな顔にも負けず、50分間語り続けていた俺たちの努力ってなんだったんだろう・・・」そんな風に落ち込む(?)先生も私を含めチラホラ...



ここで生徒、保護者の皆さま（時々先生方w）に声を大にしてお伝えしておきたいのが、

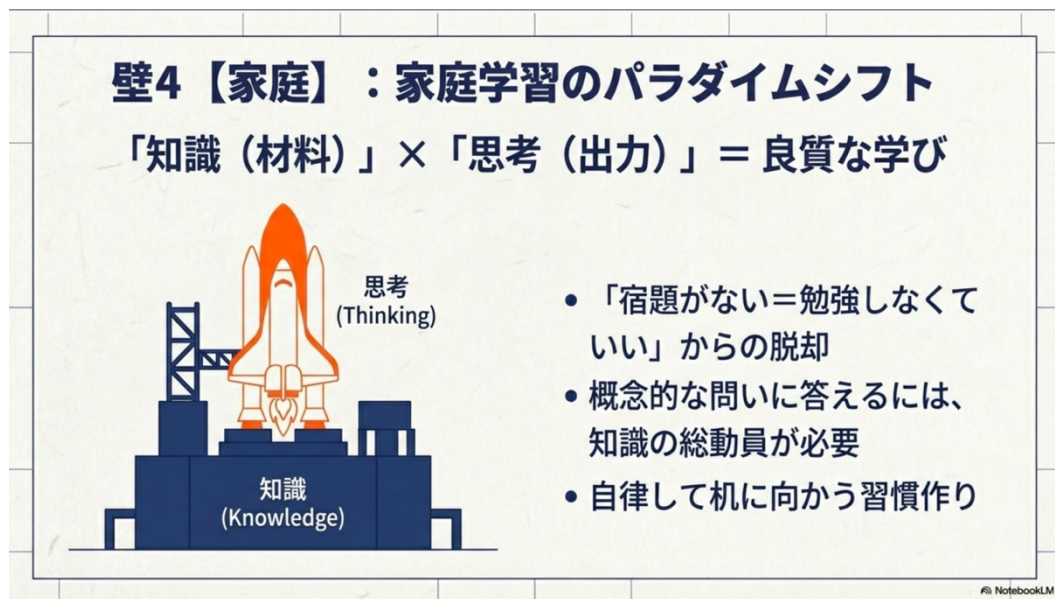
「IB だから家庭学習はしなくて良い」は大きな勘違いだ

ということです！

本校は定期テストを廃止し、「総括的評価課題（いわゆる単元テスト）」による評価へと移行しています。

基礎的な知識・技能の定着を図るテストは消えたわけではなく、写真の通り、単元テストという形で年間に広く馴らされて実施されているのです。

これまでの「定期テスト前だけ頑張る一夜漬けのスタイル」は、
單元ごとに本質的な理解を測る IB の評価には通用しません。つまり、**毎日机に向かい、コツコツとレンガ（知識）を積み上げるような学習スタイル**、すなわち**「習慣化」**がこれまで以上に重要になっている（成績に直結する）のです。



健康第一

同様に、IB スタイルの授業で不可欠なのが**「生活習慣の確立」**です。 **IB の学びは、他者との「協働」や「対話」が中心となります。** IB が定める「ATL スキル（社会性・コミュニケーション）」や「学習者像（バランスのとれた人、思いやりのある人など）」を目指すには、相手を尊重し、建設的に議論できる**心の余**

裕が欠かせません。いつも寝不足でイライラした状態では、良好なコミュニケーションは取れません。



自分を律する「自己管理スキル（Self-management）」の第一歩は、睡眠を含めた生活習慣を整え、心身を最高の状態に保つことにあります。

このように、家庭での「コツコツとした学習」と「整った生活リズム」。これらは一見地味ですが、子どもたちがAI時代という「正解のない荒野」を自力で進むための土台、エネルギー源となります。そこは**今も昔も変わりません**。自信を持ってお子様にご指導ご鞭撻を頂ければと思います。

学校側としても、特に子どもたちの「机に向かう習慣」については何かしら習慣化をアシストするような働きかけができないか、方策を思案していきたいと考えています。

学校と家庭が車の両輪となり、子どもたちの「一生モノの土台」を共に育んでいければ幸いです。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

まとめ↓

IBの学びを支える一生モノの土台 ～家庭と学校で育む、探究のエネルギー源～

中心概念：IBの学び（探究、思考力、表現力）

「確かな知識（レンガ）」と「良好な生活習慣（エネルギー）」が、応用的な能力の発揮を支えます。



知の土台：探究を支える「レンガ」の積み上げ

知識・技能は探究のための「レンガ」

質の高い解決策（フルコース）を作るには、良質な素材（知識）が不可欠です。

「コツコツ」が成績に直結する評価

授業と家庭学習の相乗効果

探究的に学ぶことで、知識の定着率は従来よりも向上します。



一夜漬けは通用しません。日々の学習習慣が単元テストの結果を左右します。

生活の土台：学びを動かす「エネルギー」と「協力」



自己管理スキル（ATL）の第一歩は睡眠
心の余裕が、他者を尊重した建設的な「対話」や「協働」を生み出します。



AI時代を生き抜く「一生モノの土台」
生活リズムと学習習慣の確立は、正解のない時代を歩む力となります。



——心の余裕



学校



学校と家庭は「車の両輪」

互いに連携し、子どもが自力で進むための土台を共に育んでいきます。



家庭

バックナンバー2024	概要
<u>鹿中 IB 通信NO.1</u> ↑クリックするとアクセスできます。	この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か？について書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.2</u>	年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。
<u>鹿中 IB 通信NO.3</u>	こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。
<u>鹿中 IB 通信NO.4</u>	参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。
<u>鹿中 IB 通信NO.5</u>	参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.6</u>	IB 教育の大きな柱である ATL スキルと 10 の学習者像とはこういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,7</u>	十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,8</u>	子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,9</u>	「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3 学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,10</u>	「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,11</u>	「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,12</u>	「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,13</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》
<u>鹿中 IB 通信 NO,14</u>	「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》

<u>鹿中 IB 通信 N0,15</u>	「コミュニティプロジェクト」についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,16</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,18</u>	2 学年の総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト」の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,19</u>	2 学年の総合的な学習の時間「未来への提案」の発表会のお知らせをしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,20</u>	「未来への提案」の発表会の動画と、「総合的な学習の時間と各教科科学びの繋がり」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,21</u>	「自分探究プロジェクト」の実践のひとつについてのご紹介と関係するイベントの告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,22</u>	IB に関する PTA 保護者のみなさまとの座談会の模様についてご紹介をしています。
<u>鹿中 IB 通信 N0,23</u>	コンサルティング終了と認定に関しての取組について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,24</u>	実際に鹿追中学校が認定されたらどうなるのかについて書いています。
---------------------------------------	----------------------------------

バックナンバー2025	概要
<u>鹿中 IB 通信 NO,25</u>	この通信の主旨や既習事項の リサイクル について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,26</u>	2025 年度の IB 概要説明（生徒向け）の模様について書いています。当日の資料や動画もご覧いただけます。
<u>鹿中 IB 通信 NO,27</u>	本校生徒の活躍の一コマと、6月から始動する総合的な学習の時間「 自分探究プロジェクト 」と「 コミュニティプロジェクト 」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,28</u>	「 体育祭 」の改革と、修学旅行発表会のお知らせについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,29</u>	2025 年度 Unit 1 の各教科総括的評価課題の概要について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,30</u>	「 目指す生徒像 」について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,31</u>	「 瓜幕中学校の視察 」について書いています。

<u>鹿中 IB 通信 NO,32</u>	IB の保護者向けワークショップのご案内について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,33</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェストにお届けしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,34</u>	日々の取組の様子について、写真でダイジェスト第二弾です。
<u>鹿中 IB 通信 NO,35</u>	授業の中で探究のサイクルを実践していくことのメリットの一つについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,36</u>	鹿追町立図書館での IB の取組と探究の町として発展していくためのキーポイントについて書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,37</u>	探究の町として発展していくためのキーポイントとして都留文科大学との交流について。そして IB 教育実習生の視点から見た本校の様子について書いています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,38</u>	本校生徒のクラウドファンディングへの挑戦について、また多方面に渡る生徒の活躍ぶりについて紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO,39</u>	コミュニティプロジェクト（CP）報告会のご案内と、各グループのプロジェクトタイトルについて紹介しています。

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,40</u></p>	<p>全体懇談会の中身と、1－2 学年の保護者の皆様にご覧いただいた IB の学びを経た生徒の姿について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,41</u></p>	<p>本校の正式な IB 認定のご報告と、IB 導入が決まってから 3 年間の歩みについて書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,42</u></p>	<p>文科省で記者会見をしてきたことについて書いています。</p>